

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年3月29日(2007.3.29)

【公開番号】特開2005-290186(P2005-290186A)

【公開日】平成17年10月20日(2005.10.20)

【年通号数】公開・登録公報2005-041

【出願番号】特願2004-106778(P2004-106778)

【国際特許分類】

C 10 L 1/04 (2006.01)

【F I】

C 10 L 1/04

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月8日(2007.2.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

下記の(a)~(n)の要件を満足する低発泡性灯油。

(a)引火点が40以上である。

(b)95容量%留出温度(T95)が270以下である。

(c)煙点が23mm以上である。

(d)銅板腐食が1以下である。

(e)セイボルト色が+25以上である。

(f)密度が0.780~0.801g/cm³である。

(g)硫黄分が10質量ppm以下である。

(h)ベンゾチオフェン含有量が10質量ppm以下で、ジベンゾチオフェン含有量が10質量ppm以下である。

(i)窒素分が1質量ppm以下で、複素環式化合物が1質量ppm以下である。

(j)飽和分が80容量%以上、不飽和分が0.1容量%以下及び全芳香族分が20容量%以下であり、かつ芳香族分のうちの2環以上の芳香族分が1容量%以下で、飽和分のうちのn-パラフィンが30容量%以下である。

(k)過酸化物価が2質量ppm以下である。

(l)30における動粘度が1.00~2.00mm²/sである。

(m)ドクター試験が陰性である。

(n)セタン指数が40以上である。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明者は、鋭意研究を重ねた結果、硫黄の低減により、燃焼排ガス中のSO_xを低減し得ること、極性物質(窒素分、硫黄分)の低減により、泡立ちを抑制し得ること、及び窒素分、不飽和分の低減により、貯蔵安定性が良好になること、そして、特にベンゾチオフェン含有量、ジベンゾチオフェン含有量及び窒素分を特定量以下に調整した灯油がその目的に十分に適合しうることを見出し、この知見に基づいて本発明をなすに到った。すな

わち、本発明の要旨は下記のとおりである。

1. 下記の (a) ~ (n) の要件を満足する低発泡性灯油。

(a) 引火点が 40 以上である。

(b) 95 容量 % 留出温度 (T95) が 270 以下である。

(c) 煙点が 23mm 以上である。

(d) 銅板腐食が 1 以下である。

(e) セイボルト色が +25 以上である。

(f) 密度が 0.780 ~ 0.801 g / cm³ である。

(g) 硫黄分が 10 質量 ppm 以下である。

(h) ベンゾチオフェン含有量が 10 質量 ppm 以下で、ジベンゾチオフェン含有量が 10 質量 ppm 以下である。

(i) 窒素分が 1 質量 ppm 以下で、複素環式化合物が 1 質量 ppm 以下である。

(j) 飽和分が 80 容量 % 以上、不飽和分が 0.1 容量 % 以下及び全芳香族分が 20 容量 % 以下であり、かつ芳香族分のうちの 2 環以上の芳香族分が 1 容量 % 以下で、飽和分のうちの n - パラフィンが 30 容量 % 以下である。

(k) 過酸化物価が 2 質量 ppm 以下である。

(l) 30 における動粘度が 1.00 ~ 2.00 mm² / s である。

(m) ドクター試験が陰性である。

(n) セタン指数が 40 以上である。

2. ベンゾチオフェン含有量が 5 質量 ppm 以下で、ジベンゾチオフェン含有量が 5 質量 ppm 以下である上記 1 記載の低発泡性灯油。